

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	『疎水百選に選ばれた水路を活用したグリーンツーリズムの構築事業』立科町 'グリーン&クリーンリゾート女神湖'としての地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人蓼科白樺高原観光協会 (0267-55-6654)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,455,241 円 (うち支援金: 1,797,000 円)

事業内容

■森林トレイルプログラムの構築及びガイド養成

ガイド養成講座を3回開催。ガイドルートの歴史文化講習を始め、実践を想定して、普通救急法を受講し、危機管理の話合いも行った。

■ヒメボタル保護を目的とした整備事業

鑑賞ルートの安全柵の設置、地ならしを行ない、案内所のテント、照明の設置も行った。

■女神湖カヌー大会開催及びカヌー教室の実施

長野県内外始め、神奈川県、岡山県からチームが参加し、交流も兼ねたカヌー大会を開催。また町民を対象にカヌー体験会を行った。



【ガイド養成講座】

【目標・ねらい】

- ①立科の資源である「水」を生かし、観光の町の発展の一途とする
- ②アウトドアプログラムを構築するために内容を充実させると共に、危機管理にも対応できる体制を整える
- ③事業を通じて、都市部との交流を深め、地域活性化に繋げる

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

■森林トレイルプログラムの構築及びガイドの養成

①立科町周辺から述べ50名が参加し、立科の「水」の歴史文化について学び、自分達の地域を再認識し、伝えていく基礎知識を学んだ。②新しい案内ルートの開拓に加え、消防署による救急法の講習を受講し、「普通救命士」を取得した。③豊島区立小学校の林間学校での森林プログラムを作成し、実践した。1,480名の受入れを行い、今後の活動への一歩になった。

■ヒメボタル保護を目的とした整備事業

①ヒメボタルの生息地が立科の「堰」に沿った場所があり、美しい森と澄んだ水の②本格的な観光シーズンを前にしたこの時期の誘客ツールとして貴重な素材非常に貴重でその環境整備を一步進められたことは大きな成果である。③教育旅行始め、近隣の施設から約2,000名の来場があった。

■女神湖カヌー大会開催及びカヌー教室の実施

①宿泊を伴う20名を含め68名の参加があった。②カヌー部を設立し、体験プログラムを実施した。③宿泊を伴った参加者もあり、情報の共有など都市間の交流を持つことができた。

※ 自己評価 【A】

【理由】予定していた以上に参加者の積極的な関わりを得て、次年度以降の活動の礎ができた。

今後の取り組み

■ 森林トレイルプログラムの構築及びガイドの育成

次年度は、ルート環境整備(草刈り・案内板設置など)、ガイド養成レベルアップ講座を実施予定。さらに

パンフレットを作成し、近隣宿泊施設とツアーを企画、実施。

■ ヒメボタル保護を目的とした整備事業

会場入口に車両が安全に止められるような環境整備を計画し、さらなる誘客を目指す。

■ 女神湖カヌー大会開催及びカヌー教室の実施

来年度は9月下旬にカヌー駅伝大会を開催予定。また町内での体験会を5月から10月まで毎月行い、合わせて指導者の育成を行いたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある